

広域広報



No. 37

平成19年(2007年)

# おきたま

8/15



## 気分は、陶芸家!

去る6月23日に鮎貝小学校の3年生の親子行事で、深山焼を身近に感じてもらうと陶芸教室がありました。白鷹町のどか村にある深山工房から匠子で、講師の金田さん指導のもと楽しく賑やかに、オリジナルの茶碗やマグカップ、花瓶などを製作しました。

また、金田さんが実際にコクコを回して茶碗や皿、湯飲みなどをあっという間に作るのを見て、職人の技に驚き、感動していました。  
作品は、1ヶ月半ほど後に焼き上がります。

# 高島町の環境への取り組み

高島町では、「かんきょうにやさしいまち たかはた」を目指して、色々な取り組みをされています。今回は、その中でも代表的な夏の笑エネキャンペーン、環境アドバイザー、たかはたかんきょう塾の3つを紹介します。

## 夏の笑エネキャンペーン



キャンペーン企画会議  
(環境にやさしい町づくり町民会議)

高島町では、環境問題を考えるきっかけをつくらうと、平成15年度から電気の省エネをすすめる「笑エネキャンペーン」を実施しています。このキャンペーンの企画は「環境にやさしいまちづくり町民会議」のメンバーが行っています。関心の高い人をひきつけるには、一人でも多くの人に参加してもらうにはどうしたらいいかを考え、液晶テレビや温泉招待など副賞を豪華にしたり、電気だけ、期間も1ヶ月と決めて誰でも簡単に取り組めるようにしたり、省エネを笑エネにして楽しい雰囲気にするなど、みんなでアイデアを出し合いました。



キャンペーンPR用CM (NGV) 撮影

すべてみんなで話し合っただけで決めた結果、メンバーのモチベーションが格段にあがり、職場や隣近所、友人に声かけする人が続出して、その結果昨年のキャンペーンでは、1650世帯が参加する一大イベントとなりました。これまで4回実施して、延べ約5,500世帯、160,000kwhの電気の削減につながり、一人ひとりの行動の成果が現れています。

今年8月! 夏の笑エネキャンペーン

7月の日やれんごころ  
8月のあつたれんごころ

省エネポイント  
7月1日 00:00開始  
8月31日 23:59終了

おまかせ照明サービス  
おまかせエアコンサービス  
おまかせ洗濯機サービス  
おまかせ冷蔵庫サービス  
おまかせ電子レンジサービス  
おまかせテレビサービス  
おまかせパソコンサービス  
おまかせプリンターサービス  
おまかせカメラサービス  
おまかせデジタルカメラサービス  
おまかせスマートフォンサービス  
おまかせタブレットサービス  
おまかせスマートウォッチサービス  
おまかせスマートグラスサービス  
おまかせスマートヘルメットサービス  
おまかせスマートヘルメットサービス



平成18年度キャンペーン表彰式

### 削減率トップ5

1位	南雲 千恵さん	47.27%
2位	山川 健一さん	44.77%
3位	伊藤 要さん	44.71%
4位	森谷久美子さん	43.82%
5位	安房美紀子さん	43.82%

気がつきました。何をやるかではなく、どんな想いでやるか、初めから無理と決めつけず、どんな小さなことでも何か行動に移してみるのが大切だと思えます。」と話してくださいました。

今年で5回目となる夏の笑エネキャンペーンは、8月の電気量の削減率を競い合います。電気代が減って、地球温暖化も防上できる一石二鳥の省エネ、この夏「笑エネ」にチャレンジしてみよう。

今年度のキャンペーンチラシ

# 環境アドバイザーの活動

高島町の環境アドバイザーは、高島町の住民13名で「自分達の手で自然豊かな高島の環境を守りたい、未来の子供たちに引き継いでいきたい」という思いで活動されています。

平成14年に、養成講座を開催して、平成15年から本格的に地域の学習会や小・中学校などへ派遣を行いました。最初は年40回ほどの派遣でしたが「わかりやすい、楽しい、ためになる」と評判になり、平成18年度には、134回も派遣されています。



研修会  
(たばこ総合)



ネイチャーゲーム  
(高島三中)



エコクッキング  
(亀岡地区食改)

環境アドバイザーの皆さんは、毎月2回の勉強会、話し方の練習、自主企画講座「たかはたかんきょう塾」の打合せ、寸劇にもチャレンジし、わかりやすく伝える工夫をしています。

「楽しんで得して豊かに暮らそう」、「エコクッキング」、「大掃除はおまかせ」など、参加対象や季節にあわせた講座内容を心がけています。

# たかはたかんきょう塾

高島町の環境アドバイザー主催で日々の暮らしを見直し、環境にやさしいライフスタイルを提案しようとして「たかはたかんきょう塾」を開催しています。毎回環境アドバイザーが手作りで講座を企画、クイズや手作りお菓子を準備して、参加者が楽しめる内容となっています。

平成18年度は、「キャンドルを作ろう&笑エネの技」、「そば打ち&おしゃれな風呂敷活用術」、「ダンジ室視察会」などを行いました。

高島町以外の方も参加できますので、お気軽に、高島町役場エコ



キャンドル作り  
かわいいリサイクルキャンドルをたくさん作ります。



そば打ち  
挽きたて、打ちたて、茹でたて、自分で打つと味も格別です。



ふるしき活用術  
日本の文化ふるしきは、繰り返し使え、どんな形にも対応する優れたものです。

タウン推進室(TEL52-1596直通)にお問い合わせください。

# 置賜 風俗 賜 遺跡 再 発見 自然見

郷土芸能 第10回

置賜の心づかぬ

次の世代に残したいもの  
いつまでも語り継がれていくもの  
家族や地域をつなげるきずな  
はじめて出会ってもなぜか懐かしさを感じる  
遠い記憶のどこかにある情景  
それは私たちの「こころのふるさと」にあります

置賜広域行政事務組合では、置賜圏域を活力に満ちた地域にしているための事業として、3市5町と連携しながら「広域的交流活動の促進」や「広域的人材の育成」をテーマとしたソフト事業を実施しています。ここでは、その事業の一つである「ふるさと再発見事業」の一環として、置賜圏域ならではの地域資源をシリーズで紹介していきます。第十回目は「置賜の陶芸」です。置賜にある個性豊かな陶芸を見直してみませんか。

## 置賜の陶芸

日頃何気なく使っている器物、特に焼き物についての歴史は古く、縄文、弥生時代に続いて素焼きの「土師器」、そして大陸文化の影響を受けた「須恵器」と進化してきました。

置賜地域にも、個性豊かな陶芸が数多くあります。今回は、米沢市の成島焼、白鷹町の深山焼、飯豊町の萩生焼を紹介します。



ロクロを回している様子

## 成島焼

成島焼は、上杉鷹山公の殖産興業の一環として始められたといわれています。安永7年(1778年)に相良清左衛門、立石善五郎が瀬戸焼き御用掛りとして任命され、相馬焼き陶工の利兵衛により花沢で始められました。

しかし、なかなか成功しなかったため、天明元年(1781年)に相馬館の下、陶工の藤氏を招き抱えて、成島で本格的に生産を始めました。以降、二藤氏代々により明治中頃まで焼き続けられました。

その後、嵐田氏により大正時代から昭和10年頃まで、再興されましたが廃業し、昭和50年に、荒れ果ててしまった窯場を見かねた遠藤太郎氏より再再興の依頼を受けて、水野哲さんが成島に窯を築き、現在に至っています。



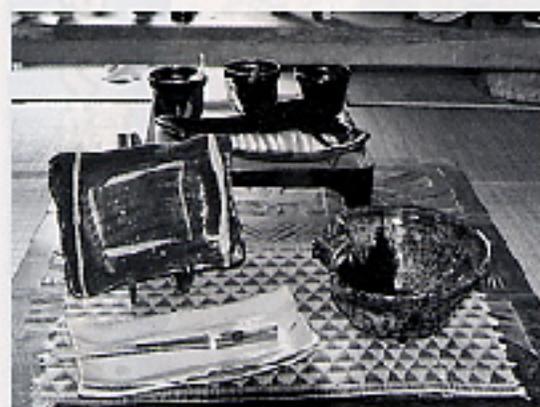
成島焼

特徴は、きりっとした器物の上に、黒い餡釉が掛けられ、上部の縁に釉が美しく青く発色しているところ。彫り絵や龍の張り絵など華やかな物もありましたが、水ガメ、漬物ガメ、皿、摺鉢、納豆鉢など少し厚手でしつかりした形の実用的な日用雑器が生産されてきました。陶芸を身近なものにしてもらおうと、米沢市主催で60歳以上の陶芸教室を月に1回、20名前後で形作りから焼くまでの作業を4日間通して開催され、20年以上続けられています。その他にも随時子供や大人の陶芸教室を開催されています。

## 深山焼

深山焼の歴史は、いつの時代に誰によって作られていたのか等、何の文献も伝承もなく一切分かっていません。そのため、まぼろしの窯といわれています。

昭和36年に県の遺跡調査で、焼き物の破片、窯道具が多く発掘され、地元の人にも知らなかった窯跡が発見されました。そして、昭和53年に、教職に就く傍ら焼き物の研究をしていた梅村正芳氏が深山に窯を築き、出土した破片を研究し、再興したのが深山焼となりました。



深山焼

## 成島焼を再興して

水野 哲さん

私は、当初、唐・宋・元時代の中国陶磁鑑賞から始まり、やがて朝鮮の李朝ものや井戸茶碗に至りました。それに近い焼物ということで、山口県の萩焼を学ぶことになりました。数年の修行の後、九州の唐津焼上野焼を経て、実家の米沢市上矢来に開窯しましたが、上杉鷹山公の興した成島焼をぜひ再興したいと土地の所有者である遠藤太郎氏のたつての依頼を受けました。

私の好きな宗時代の中国陶磁や修行してきた茶陶とは、正反対の異く地味な感じの成島焼に正直とまどいしましたが、米沢においての色々な面での師である尾崎周道先生の助言等もあり、広い土地のどこでも使って良いとの事で、昭和50年に鷹山公ゆかりの昔の窯のとなりを開窯いたしました。

しかし、成島焼の技法を知る人も無く、特にこの土地だけでなく置賜全体の上が焼きが進むと割れ易くなる土が多く、目だけでは判断出来ず、学んで又た粘土精製の技法も違うため、試行錯誤の連続でした。

やがて、最初目指していた中国陶磁や井戸茶碗とは違う成島焼のしっかりとした実用陶器の奥深さに、60歳を間近にひかえ、ようやく識り得るといふ誠に遅い目覚めで嬉しい限りです。これからが、また新たな出発になりそうです。

昔は、焼き物を買って求める人が多かったのですが、今は習う人のほうが多くなりました。出来るだけ多くの人に陶芸に親んでもらいたいです。



成島焼  
上部が青く美しく  
発色しています。

### ◆お待ちしております◆

シリーズ置賜再発見では、置賜の風俗、遺跡、史跡、自然、郷土芸能などを紹介する予定です。

みなさんからの情報をお待ちしております。  
置賜広域行政事務組合総務課企画係  
〒992-0012  
米沢市金池三丁目1番55号  
TEL 0238 (23) 3246  
FAX 0238 (24) 4659  
メールアドレス kikaku@kikaku.or.jp

取材協力及び写真を提供していただきました。  
水野 哲さん（米沢市）、金田利之さん（白鷹町）  
館石 茂さん（飯豊町）

白鷹町には他にも、江戸時代中期に成島焼の職人である下小宮の源三が「十王焼」を始め、その職人の中には栃木県の益子焼を学んでいたと伝えられています。終戦まで十王焼はありましたが、深山焼と関係があったのではないかと考えられています。

特徴は、素朴で白鷹の地らしい温もりと味わいがあるところです。発掘された破片の中には、手の込んだ水滴や茶碗などが数多く見られ、釉薬やロクロ技術のうまさや品の良さがうかがえます。

現在は、深山工房つらこ子主宰されている金田利之さんが、深山焼を受け継がれています。陶芸に親しんでもらおうと、展示会や県美展に出展されたり、山形市や村山、置賜の公民館、学校、各種施設などに出張し、陶芸教室を開催されています。



萩生焼

### 萩生焼

萩生焼は、昭和59年に飯豊町の館石茂さんにより始められました。ものを作るのが好きだった館石さんは、焼き物に魅せられ、山口県

の萩焼を勉強されました。その後、萩生に戻り、自分が学んだ萩焼に萩生の自然などを加味したオリジナルの陶器を作成し「萩生焼」と名付けました。

特徴は、陶器の素地と釉薬の収縮の違いで出来る細かいひび（貫入）があることです。貫入があるため、使い込むと色が変化して、使っている人だけの味わいが出てきます。

また、使用されている粘土には、鉄分が多く変化をつけにくいいため、完全に乾いていない半がわきの素地に白い泥をかける化粧がけという技法をとるなど、独特な変化をつける工夫をされています。

平成9年からは、源流の森ヒンター森のアトリエで陶芸教室を開催されています。豊かな自然の中で、自分だけのオリジナル器を参加した子供、大人に親切に指導されています。

### 次世代への継承

置賜にある陶芸は、需要の減少や後継者育成の難しさなど大変厳しい状態です。その中でも、陶芸を身近に感じてもらうと、展示会や陶芸教室を開催されています。子供も大人も、焼き物の柔らかい粘土に触れると自然と笑顔になり、癒し効果があります。

置賜にある素朴で温かい陶器を見直し、後世に継承していきましよう。



直江兼続の陶人形  
（そう人形）

## おきたまニュース

### 7月議会臨時会を開催

去る7月25日に本組合議会臨時会が開催されました。

この臨時会では、議長に長井市の佐々木謙二議員、副議長に白鷹町の船山仁議員を選出、また議会選出監査委員には米沢市の齋藤春美議員が決まりました。

議案関係では、専決処分事件が原案どおり承認されましたほか、職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正や本組合が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の設定及び平成19年度一般会計補正予算についても原案どおり可決されました。

### リサイクル自転車・家具類を無償で

提供します

千代田クリーンセンターのくりえいと工房では、年4回、不要になった自転車や家具類を修理再仕して、住民の皆様は無償で提供しております。

提供は抽選となっており、置賜にお住まいの方なら、どなたでもご応募いただけます。くりえいと工房にお越しになり、再生品をご覧ください。

今年度の提供の計画は次のとおりです。

- 第3回 8・9月期
- 展示期間 8月1日～9月15日
- 公開抽選日 9月19日
- 第4回 10・11・12月期

- 展示期間 10月2日～12月8日
- 公開抽選日 12月11日
- 問合せ先

千代田クリーンセンター 施設第2係  
Tel 0238(57)4004



### 南陽市制施行40周年記念事業

ドリーム・ベースボール

「名球会、OBクラブがやって来る！」

南陽市大会

市制施行40周年を記念し、日本プロ野球名球会と全国野球振興会(OBクラブ)を中心としたメンバーを招いて、ドリーム・ベースボールを開催します。

- 期日 9月15日(土)・16日(日)
- 場所 南陽市向山公園野球場、南陽市民体育館、他

### ◆主な内容

- ・指導者クリニック(15日)
- ・金田正一ふれあい講演会

(16日午前10時30分～11時30分)

- ・ドリームチームと市内選抜チームによるドリームゲーム

(16日午後1時30分～2時50分)

- ◆問合せ先 南陽市教育委員会社会教育課(南陽市民体育館内)

Tel 0238(49)2600

今日正一、村田兆治、北別府学、高木守道、松原誠など総勢24人の往年の名選手が出演し、楽しいイベントがいっぱいです。みなさんの来場をお待ちしています。

### みちのくおとぎ 民話フェスタ

国道113号線沿い「みちのくおとぎ街道(高畠、南陽、白石、土ヶ宿)」の童話、伝統ある民話や伝説の紙芝居や語り部の披露、昭和の遊びが体験できます。

- 日時/10月7日(日)8時30分～17時45分
- 会場/高畠町文化ホール、高畠地区商店街通り、高畠町総合交流プラザ
- 問合せ先/国道113号観光推進協議会(高畠町商工観光課内)

Tel 0238(52)4462



### 南陽やすらぎ荘で花を植えました

去る6月21日、養護老人ホーム南陽やすらぎ荘の敷地斜面へ花苗を植栽しました。当日は、長井地区郵和会(郵政公社OB有志のボランティア)の方を中心に、入居者とともにマツバ菊など250本ほどを植え、交流を深めました。

明るく華やかな彩りの花壇が完成し、近隣の方々にもやすらいだ環境を楽しんでいただけるようになりました。



## 浅川ふれあい公園占有使用 (貸し切り)の予約受付

昨年 0月 1日に開園しました浅川ふれあい公園は、皆さんが無料で自由に利用できる公園です。軟式野球やサッカーなどができる多目的グラウンドと桜を植栽した桜ふれあい広場、緑の交流広場があります。それぞれ広場毎に占有使用(貸し切り)が可能ですので、地区の行事、軟式野球、サッカー、グラウンドゴルフの試合や練習等で是非ご利用ください。

占有使用(貸し切り)については、1団体、月2日まで、使用する2ヶ月前の1日から予約が可能ですので、事前に千代田クリーンセンターへ電話で予約をしてください。その後、申請書を下記のホームページからダウンロードしていただくか、置賜広域行政事務組合総務課、千代田クリーンセンター、長井クリーンセンターでお渡ししていますので、提出してください。

詳しくは、千代田クリーンセンター施設第2係(0238-57-4004)にお問い合わせください。

- ◆置賜広域行政事務組合ホームページ  
<http://okikou.or.jp>  
 (ページ下部「浅川ふれあい公園」のリンクからお入りください。)



**多目的グラウンド広場**  
 軟式野球、サッカー、グラウンドゴルフなど  
 ができます。



**緑の交流広場**  
 周囲に八重桜を植栽し、  
 故策路やスプリング遊具  
 を設置しています。



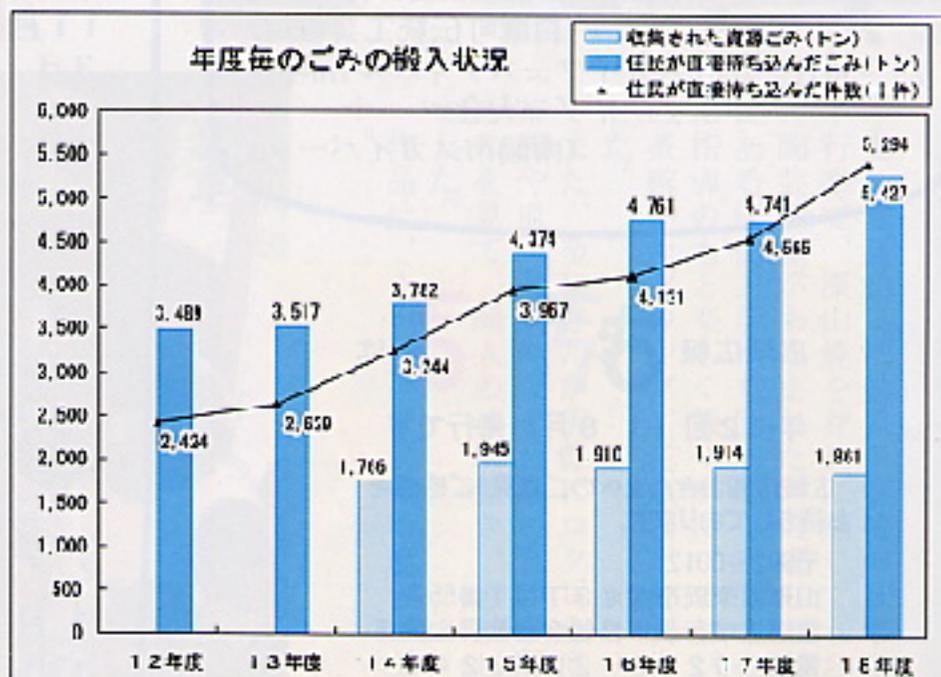
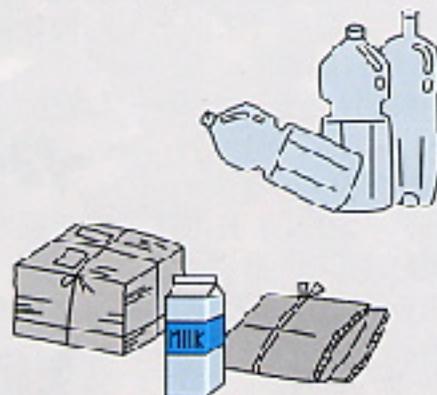
**桜ふれあい広場**  
 ソメイヨシノ、オオ  
 ヤマサクラ、サトリク  
 ラを植栽し、周囲には  
 散策路があります。

## 分別しないで家庭のごみを持ち込む方が増えています!

置賜全体の家庭から出されるごみの量は、1年間に約4万トンですが、ここ数年間は横ばいとなっています。その一方、長井や千代田の各クリーンセンターに分別しないで直接ごみを持ち込む方は年々増えており、平成12年度に比べるとごみの量で1.5倍、件数で2.2倍に増えています。

最近では、資源ごみとして再生利用できるペットボトルやプラスチック製容器が、もやすごみとして持ち込まれるケースが増えており、資源ごみとして収集される量が減っています。本来、ペットボトルやプラスチック製容器は資源として再利用できる、価値のあるものです。

ごみの減量はもちろん、ごみの分別、リサイクルをもう一度見直し、資源の有効利用にも努めていきましょう。



8月(葉月)



- 上旬～10月上旬 観光ぶどう狩り  
(南陽市観光ぶどう園)
- 12～22日 大相模東関部屋小国合宿  
(小国町コバレントマテリアル樹相楽場)
- 15日 網木獅子箱 (米沢市網木四照寺跡地)
- 15～16日 たかはた夏まつり  
「青竹ちょうちんまつり」  
(高島町昭和縁結び通り商店街ほか)
- 16～17日 諏訪神社御輿渡御行列  
(荒獅子まつり)(飯豊町萩生地区)
- 24日 第32回ワインフェスティバルin南陽  
(南陽市ハイジアパーク南陽)
- 25日 フレンドリー・クラシック  
～イタリアの風に乗って～  
(川西町フレンドリープラザ)

9月(長月)



- 1日 地酒と黒べこまつり(川西町ダリヤ園)
- 1日 めざみの里まつり  
(飯豊町民総合センター「あ～す」)
- 8～9日 赤湯温泉ふるさと祭り  
(南陽市赤湯温泉通り)
- 9日 第32回置賜民謡選手権大会  
(長井市民文化会館)
- 9日 ダリヤカップMFB大会  
(川西町ダリヤ園周辺)
- 15日 安久津八幡神社祭礼(秋まつり)  
(高島町安久津八幡神社)
- 16日 第58回高島ロードレース/まほろばマ  
ラソン大会 (高島町内)
- 16日 第42回若鮎マラソン大会  
(白鷹町蚕桑小学校)
- 22～24日 東北ダリヤ名花展  
(川西町ダリヤ園)
- 22～24日 第31回白鷹鮎まつり  
(白鷹町ヤナ公園)
- 23～24日 第16回しらたか伝統工芸の村まつり  
(白鷹町伝統工芸の村)
- 29～30日 2007スカイフェスティバルin南陽  
～パラグライダー大会～  
(南陽市スライパーク)

30日 夕鶴の里民話まつり(南陽市夕鶴の里)

10月(神無月)



- 上旬 縄文まつり(長井市古代の丘)
- 上旬 フラワー長井線まつり(長井駅ほか)
- 6日～11月11日 日本の屏風絵-京都国立博  
物館の愛品-(米沢市上杉博物館)
- 6日～8日 かわにしの秋祭り2007全国玉こ  
ん選手権(川西町ダリヤ園)
- 6日～8日 ヤナ豊漁感謝祭  
(白鷹町ヤナ公園)
- 7日 みちのくおとぎ民話フェスタ  
(高島町文化ホール)
- 8日 南陽さわやかマラソン大会  
(南陽市中央花公園)
- 11日～11月11日 第95回南陽の菊まつり  
(南陽市熊野門前本町特設会場)
- 14日 第7回米沢おしよしなハーフマラソ  
ン大会 (米沢市宮陸上競技場)
- 14日 長井マラソン(長井市生涯学習プラザ)
- 14日 マイクロマウス東北地区大会  
(長井市タス)
- 20～21日 第13回米沢産産業まつり・テクノ  
フェスティバル2007  
(米沢市万世コミュニティセンター、  
米沢市営八幡原体育館)
- 20日～21日 国産大豆サミットin山形川西  
(川西町フレンドリープラザ)
- 21日 ゆうきの里まつり  
(高島町ゆうきの里さんさん)
- 21日 白鷹学講座「童門冬二講演会」  
(白鷹町パワーセンター)
- 28日 第46回全日本50km競歩高島大会  
(高島町まほろば競歩コース)
- 28日 飯豊連峰紅葉ジョギング大会  
(小国町小玉川小学校周辺)
- 28日 黒沢峠まつり(小国町黒沢峠)
- 下旬 いいでかやぶき講(飯豊町宇津沢地区)

11月(霜月)



- 3日 いいで秋の収穫祭  
(飯豊町民総合センター「あ～す」)
- 10日 白鷹学講座「おすぎのシネマトークと  
映画上映会」(白鷹町パワーセンター)
- 17日～1月14日 博物館のとおき～あな  
たが選ぶ上杉博物館20選～  
(米沢市上杉博物館)
- 17日 めざみの里音楽祭  
(飯豊町民総合センター「あ～す」)

12月(師走)



- 4日 保呂羽堂の年越し祭  
(米沢市窪田町千眼時)
- 14日 山形交響楽団米沢演奏会  
(米沢市伝国の杜置賜文化ホール)

1月(睦月)



- 14日 たかはた冬まつり  
「わらじみこしとお 斎灯焼き」  
(高島町昭和縁結び通り商店街ほか)

広域広報 おきたま は

年に2回(1・8月)発行です

広域広報おきたまへのご意見・ご感想を  
お待ちしております。

〒932-0012

山形県米沢市金池3丁目1番55号

置賜広域行政事務組合総務課企画係

電話 0238-23-3246

FAX 0238-24-4659

E-mail kikaku@okikou.or.jp

URL http://www.okikou.or.jp/